

第5回亙理町震災復興会議

日 時	平成23年11月23日(水) 14:30~16:45
会 場	亙理町中央公民館大ホール
出席者	委員：石川幹子委員、今村文彦委員、大村虔一委員、加藤徹委員、岩佐國男委員、大友弘美委員、川村勝司委員、菊地伸悦委員、中嶋一昭委員、丸谷由郎委員、三品幸徳委員、荒都由美委員、菊地一男委員、木村律子委員、鈴木征治委員、安細隆之委員、佐藤實委員、鈴木高行委員 (敬称略・五十音順) オブザーバー：本間泰造、本多吉美、遠藤信哉、斉藤敬一 亙理町：齋藤邦男、齋藤貞、岩城敏夫、佐藤仁志、佐藤浄、高橋伸幸、日下初夫、安喰和子、阿部清茂、東常太郎、酒井庄市、古積敏男、作間行雄、齋藤良一、遠藤敏夫、佐々木利久、丸子司 事務局(震災復興推進課)：齋藤輝彦、神林俊勝、中沢孝至、安倍正人、南部浩秀、齋藤正樹、赤松俊幸、井上広之

1. 会議次第

- 1 開 会
- 2 挨拶 亙理町長 齋藤邦男
- 3 議 事
(1) 亙理町震災復興計画(最終案)について
- 4 閉会

2. 議事

	《亙理町震災復興計画(最終案)、亙理町震災復興(案)に対する意見公募(パブリックコメント)結果、津波被災地の復興に向けた第2回町民意向調査結果(概要版)について震災復興推進課長が説明》
中嶋委員	《意見交換》 ・震災復興計画に具体的な計画の内容が記述されていない。荒浜、大畑浜、吉田浜の3地区に分けて、それぞれ内容が一目でわかるような図面をつけてほしい。
高橋震災復興推進課長	・荒浜、大畑浜、吉田浜の移転先等については、住民と話し合いをしながら進めております。今後住民と話し合いながら図面を作成していきます。
安細委員	・移転を促進する地域に対する移転先の具体的な場所が震災復興計画に示されていないので説明してほしい。 ・排水対策は重要な課題なので震災復興計画の中で直接外洋に排水することを検討してほしい。 ・イチゴ農地の復興は町の復興のシンボルになると思います。イチゴ農地の復興について町の考えを説明してほしい。

高橋震災復興推進課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、移転先の具体的な場所について住民の意見を集約している状況です。また、移転先を示すことで今後の移転の取組みに支障となる可能性があったことから移転先の候補地は示しておりません。
東産業観光課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 排水対策については、鳥の海湾に排水が集中していたため、排水が集中しないよう関係機関と調整をしているところです。具体的な内容が決まれば図面等で示していきます。 ・ イチゴ農地の復興については、常磐自動車道西側に 20ha のイチゴ農地を整備することを考えています。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移転を促進する地域に該当する住民に対して町が考える計画案を示し、それに基づいて住民と調整していく必要があると思います。
齋藤町長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移転を促進する地域に該当する住民の移転先については、住民と対話をしながら決めていきたいと思っています。
荒委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 吉田浜南北は何度か集まって話し合っており、ほとんどの住民が集団移転を希望しています。移転先の候補としては国道 6 号の西側と常磐自動車道の近くの 2 か所に意見がまとまりつつあります。移転先が決まった段階で早急に事業を進めていただきたいと思っています。 ・ 浜吉田駅の再開を望んでいる人が多いので、早急な再開に向けて進めてほしい。
齋藤町長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在は震災復興推進課で移転先について住民の意見を集約している状況で、今後移転先に必要な面積を考慮しながら移転先の設定を行っていきます。 ・ 浜吉田駅の再開については、今後も J R に強く再開を要望していきます。
今村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防潮施設で完全に守れない津波に対しては避難が必要になりますが、避難に車が使えるかどうか重要です。避難場所の近くで駐車場が少ないために渋滞してしまうこともあるので詳細な避難計画が必要です。また、避難場所については、情報を受け取れる設備の設置についても考える必要があります。
石川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後どのように亘理町が復興するかがわかる図面が必要だと思います。 ・ 荒浜に避難場所にもなりうる丘をつくることを検討してほしい。 ・ 住民にドングリを拾って苗を育ててもらい、植樹して人が来てもらえる場所にしてほしい。
菊地(伸)委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥の海湾の排水対策についても検討してほしい。 ・ 水産ゾーンの背後の土地利用が何も行われなければにぎわいも生まれないのではないかと思います。

鈴木(征) 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民の生活に係わる身近なことについても町で取り組んでほしい。 ・ 大畑浜は移転を促進する地域に入っている住民と入っていない住民に分かれてしまっています。コミュニティの維持をするためにも大畑浜全体を「移転を促進する地域」に入れてほしい。
高橋震災復興推進課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大畑浜地区については、地区住民と話し合いながら検討を進めていきます。
加藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 排水については地盤沈下をしている箇所があったり、雨水を農業排水路に放出している状況なので、復興特区を設定して排水系統を抜本的に変更する検討を行う必要があると思います。 ・ 被災した宅地を含めたほ場整備を実施して従前と等面積の移転先を確保することを検討する必要があると思います。 ・ どのように復興するかがわかる計画の図面は必要だと思います。
齋藤町長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 排水路については直接外洋に排水することを関係機関と調整しています。
鈴木(高) 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移転先を模型で示しながら住民と話し合いをしたほうが意見の集約がスムーズにできると思います。 ・ 避難場所になっている学校は、移転後も現地再建でいいのか検討が必要だと思います。特に長瀬小学校は西側に移転するべきだと思います。
菊地(一) 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥の海八景をイメージで示してほしい。 ・ 水産ゾーンの土地をすべて利用するのは大変だと思います。早く計画を立てて企業の誘致に力を注ぐ必要があると思います。 ・ 鳥の海の緩衝緑地には道路を整備する必要があるのではないのでしょうか。 ・ 住民にとって身近な問題である移転先、災害公営住宅、学校、土地の値段、駅の再開が明確に示されれば住民は安心できると思います。
高橋震災復興推進課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥の海八景については今後描き込んでいきたいと考えています。 ・ 水産ゾーンについては、土地利用を検討しているところですが住民等と調整しながら進めていきます。 ・ 緩衝緑地の道路については、今後農地の再生や企業立地等に合わせて道路を検討していきます。 ・ 住民の身近な問題については、出来るだけ早く示しながら進めていきたいと考えています。

三品委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今の段階は町の主導が大切で、町としての方針を明確に図面などで示しながら進める必要があると思います。 ・排水路の整備を早急に進める必要があり、町の計画に入れる必要があると思います。また、樋門の復旧についても早急な課題だと思います。
岩佐委員	<ul style="list-style-type: none"> ・町の主導で再度互理郡農業振興公社を立ち上げました。今後産業の振興を進めていきたいと思っています。ただし基盤が整備されていないので、ほ場整備を早急に行ってほしい。
木村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設住宅に住んでいると誤った情報が入ってくることがあります。町には住民に対して説明会を開催して正しい情報を発信してほしい。 ・荒浜に戻りたいと考えている人が多いことに対してうれしく思います。現地で再建してもよいと言ってもらえればすぐにでも動き出したいと思います。
齋藤町長	<ul style="list-style-type: none"> ・防災対策の詳細や移転先の整備等との整合をとるため、現地での再建はもう少し時間をいただきたい。
大友委員	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回町民意向調査結果をみると荒浜に戻りたい人が多いことが読み取れます。住むことができる地区のライフラインや施設の充実を早急に行っていく必要があると思います。
川村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この最終案で前に進んでいっていいと思います。 ・P24 に仮設住宅のコミュニティ支援とありますが、町で率先して行っていくのでしょうか。 ・P38 に行財政運営の方針が示されていますが、福祉事業が後回しになることが心配です。
佐藤総務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで仮設住宅で自治組織をつくる支援を行ってきており、現在7つの仮設住宅のうち3つの仮設住宅で自主的な活動が行われてきています。
佐藤企画財政課長	<ul style="list-style-type: none"> ・まず優先するのが復興という意味で記述しており、福祉を後回しにするという意味ではありません。
丸谷委員	<ul style="list-style-type: none"> ・にぎわいを創出するためには商業施設の立地が重要だと思います。仮設店舗の設置が遅れているので早急に実施してほしい。 ・工場などを誘致する場合、外洋に排水することについては漁業権の問題もあると思うので調整し、企業を誘致できるようにしてほしい。 ・商工会ではにぎわいの創出のためにイベントを開催しています。町にもイベントへの参加及び補助に力を貸してほしい。

大村委員	<ul style="list-style-type: none">・ 多くの委員から図面の必要性について指摘がありましたが、町はどのように対応するのでしょうか。・ 被災者の意見は時間の経過とともに変化してきていると思うので、被災者の意見を常に更新できる仕組みを検討してほしい。
齋藤町長	<ul style="list-style-type: none">・ 今月中に図面を作成し、12月上旬にもう一度震災復興会議を開催させていただきたい。 <p style="text-align: right;">以上</p>